

## 岡崎市保育所等個別施設計画の概要

### ◆ 計画の目的と位置づけ

岡崎市保育所等個別施設計画は、インフラ長寿命化基本計画（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議）に基づく本市の行動計画となる岡崎市公共施設等総合管理計画を踏まえ、保育所等における具体的な対応方針を定める計画として、点検・診断によって得られた個別施設の状態や維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定めていきます。

### ◆ 計画期間

令和3年度から令和12年度までの10年間（必要に応じて5年で見直し）

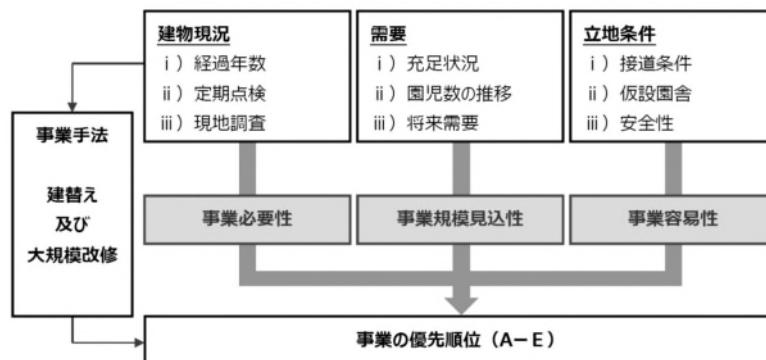
### ◆ 対象施設

岡崎市公共施設等総合管理計画における保育所等38施設

### ◆ 対策の優先順位の考え方

建物の現況、将来の保育需要及び施設の立地条件を評価し、点数化したうえで総合的に判断し決定する。

図：優先順位検討フロー



### ◆ 個別施設の状況を踏まえた大規模改修による長寿命化又は建替え等の対策内容

(1) 鉄骨造（S造）は建替えによる長寿命化を、コンクリート造（RC造）は大規模改修による長寿命化を原則とする。

(2) 個別施設ごとに次の事項を考慮し、対策内容を検討する。

ア 建物の現況（経過年数、定期点検、現地調査、施設配置）

イ 仮設又は移転用地の用途

ウ 現行の衛生管理基準を満たした給食室の整備（給食室の拡張）

エ 駐車場の増設

### ◆ 今後10年間の長寿命化実施計画のまとめ

対策内容	園数（園）	工事金額（千円）	備考
長寿命化	13	485,744	
更新・長寿命化	6	3,761,510	
合計	19	4,247,254	

※ 本計画は、各施設の『今後の取組みの方向性（考え方）及び概ねの費用等の見込み』を示すものであり、事業の実施（事業化）にあたっては、具体的な施設ごとに関係機関との協議・調整や事業費確保（予算措置）、実施計画の策定等を行います。